

地域で生きる 地域を生かす

豊かな自然は北区の大きな魅力です。しかし、それは放っておけば荒れてしまうこともあります。今回は地域の環境を守るため清掃や保護に取り組む方々を紹介します。

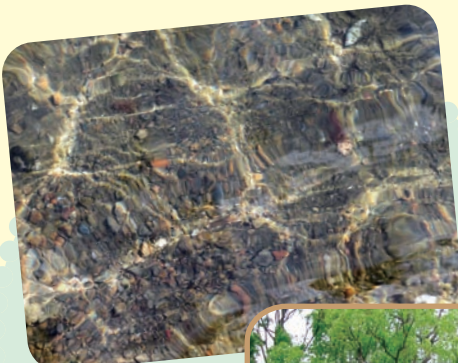


思い出の中の八景水谷水源をもう一度…

～八景水谷公園愛護会～



1年目は、並んで押し流していくとヘドロが水面から出る程だった



ヘドロが取り除かれ、川底の砂利が見えるようになった



熊本市有数の水源地 八景水谷。しかし、平成14年頃からその湧水量は減り、その上、側溝の雨水が流入するようになったことで、底にヘドロが堆積するようになりました。

それに危機感を抱いた「八景水谷公園愛護会」は、平成25年からヘドロ除去に取り組んでいます。作業は水量が増える梅雨の終わりに行います。池の中に入り、大きなトンボを使って地道にヘドロを押し流します。水を含んだ大量のヘドロは重く、汗だくになりながらの作業です。八景水谷の生態系や下流の水質に影響を与えないため、気を配りながら、徐々に除去していきます。

1年目は公園愛護会のメンバーだけでしたが、昨年は城北校区全体に協力を呼びかけ、約30人が集まり作業にあたりました。

活動当初、最も深いところで30cm程堆積していたヘドロが、今では10～15cmにまで減りました。ヘドロがなくなった場所からは湧水も確認されるなど、少しずつ活動の成果が現れ始めています。

参加者の声

活動を始めたときは、あまりのヘドロの量に、これがあの八景水谷水源地かと。溜め息まじりに、なんとかしなければ、と思いました。今は随分改善されたので、蜚を復活させるための準備を進めています。目標は、いつ飛び込んでも濁らなかつた昔の清流を取り戻し、いなくなつてしまつた蜚たちを甦らせることです。



ヘドロの除去活動にも参加されている土橋巧さんは、30年以上もの間、ほぼ毎日、八景水谷公園と熊本市北老人福祉センターの清掃を行っています。草刈りや落ち葉かき、ツツジの剪定までこなします。

「地元の公園なのだから、少しでもきれいな方がいいと思って。体が動く間は続けるつもりです」と話してくださいました。

蜚が舞う故郷を子どもたちに…

～西里校区まちづくり委員会～

5月末、瑞巖寺公園では西里校区まちづくり委員会主催の蜚鑑賞会が開催され、幻想的な蜚の光と人々の感嘆の声に包まれます。

この蜚が飛び交う素晴らしい環境を守り育てるため、地元では様々な努力をしてきました。始まりは20年前。元々蜚が出ていた西浦地区の瑞巖寺公園周辺ですが、この地域の資源を大切にしたいと、隣の小塚地区の老人会が活動を始めました。勉強会を開き、川辺の草の刈り方を変え、川の水質浄化や蜚の餌となるカワニナの繁殖などに取り組み、蜚が住みやすい環境を整えたことで、徐々に以前より多くの蜚が見られるようになりました。同地区の松村繁光さんはこの地域の宝をもっと皆に知ってもらおうと「蜚コンサート」を開催。その後を西里校区まちづくり委員会が鑑賞会という形で引き継ぎました。2年前に老人会が解散してからは、まちづくり委員会と小塚地区・西浦地区の自治会、地元の方々が互いに協力し合いながら、蜚の保護と鑑賞会による地域の魅力発信に努めています。

これに刺激を受けた庄地区や坂の下地区でも、7年前頃から、川にカワニナの餌を置いたり、飼育に挑戦したりと、蜚の再興に向けて地域で取り組んでいます。



乱舞するホタル



鑑賞会用の竹灯籠作り。孟宗竹を刈り出すところから始まる



水を浄化する竹炭づくり

公園清掃で地元を盛り上げる！

～武蔵塚公園愛護会・龍田弓削1丁目公園愛護会～



夏は6時過ぎから、冬も7時前後には活動開始。「もともとは8時半からだったけど、皆ついつい集まってきちゃうんですね」とのこと

龍田校区第1町内の老人会を中心に構成された「武蔵塚公園愛護会」と「龍田弓削1丁目公園愛護会」は、毎月第2火曜日に武蔵塚公園・龍田弓削1丁目公園・片彦瀬公民館の清掃活動を行っています。

平成元年に武蔵塚公園保存会として始めたこの活動は、会名やメンバーを変えながらも、26年間地域で受け継がれてきました。時期によっては、月1回の清掃では追いつかず活動回数を増やし、大量の落ち葉や花びらを処理することもあります。夏は暑く、冬は寒く、薄暗い早朝からの作業は決して楽ではありません。それでも「地域の宝である武蔵塚公園を地元みんなで盛り上げていきたい」「観光客にきれいな状態で見てほしい」「子どもたちがきれいな公園で遊べるように」と、活動を続けています。

参加者の声

高齢になり清掃に参加できない方でも、顔だけでも出そうと活動の場所に来られたりして、地域の顔合わせの場にもなっています。老人会に入る人も少なくなり、活動の後継者がいないなどの問題もありますが、せっかく地域の先輩方が立ち上げて少しずつ確立されてきたものをここで切るわけにはいかない、残していきたいなと思います。



清掃後の公園には落ち葉も草も見当たらない

